長島文芸

短 歌

風

幾たびも諦めかけし短歌の道今は唯 杖つきて歩む道辺に枯れ葉色の紫陽花揺れて秋の深みぬ 亡き母の好みし野菊が海棠の根方にひっそり咲きて声かく 偶さかに通りし山路をひょこひょこと亥の子横切り猫と見紛ふ の声鋪道にひびき陽に響き天草の沖に夕雲は燃ゆ の通る浜辺に鷗寄り港を超へたる山の巣へ飛ぶ 一のわれの励みぞ 中 米 岩 松 下

山 尾 タ 和 7 子 江 工

ち

坂之下典子 浜田美代子 元 睦 子

般 品

居待月は痩せて夜更けを上りゆく誰にも語れぬ思い抱えて 船が行く海原荒しインド洋天草灘の青は優しき 関わりの人またひとり失ひし馴染みの店の畳まれしごと 向日葵や灯台白くぬきんでて故郷の海今も美 老いたりて投句欄も見えざりき つの間に我が家の庭の仲間入る名も知らぬ花咲きて秋告ぐ の中は違って行くよ本当だ何んても違ふ役立たない ね 宗 母 町 後藤ヨシ 中仮 小 小 方 木 田 林 林 屋 末 如 良 正 辰

広場あ

ŋ

長島の

人集まる

町立図書館のおすすめ

子

月

貢

工

平 則

喜

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介



炬火リレ

島人見つむ百合の花

山嵜加代子 一階堂妙

五年ぶり帰る息子や夏鶯

大

堂

早

苗

お七夜は大暑赤飯蒸し上がる

母の世は二夫にまみえず百合の花 百合咲いて岬にあがる波がしら

白男川 迫

ゆらゆらと景色の揺るる大暑か

な

関

喜 П

久

雄

関

佳

代

美

坂

靜

子

君 孝仁 代

Ш

の朝老鶯の声に目覚めけり

百合の香や人待つ門の薄月夜

つ咲き鉄砲百合のこちら向

大

堂

正

一階堂惠子

淵

脇

護

闘

魂を込めし校歌や八月来

明

徘 句

台風のゆく手や知己の住まふ都市

魔女のあとおし

著:中山 有香里

元気が出ない日に、あなたを丸 ごと抱きしめてくれる感動作で



ツユクサナツコの一生

著:益田 ミリ

漫画家のナツコが描くのは、自分 の好きを大切に生きる人へ贈る物 語。

思わぬ展開に涙です。

町立指江図書館 **1** 0996-88-5651 町立鷹巣図書館 **7** 0996-86-1121